

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	抗CD38抗体投与が自家末梢血幹細胞採取・移植に与える影響
研究責任者	血液内科 副部長 塚田 信弘
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	研究の概要: 本邦においては多発性骨髄腫に対する抗CD38抗体としてダラツムマブ(ダラザレックス、ダラキューロ)およびイサツキシマブ(サークリサ)が保険適応となり、これらを含む治療が標準的治療となっています。 一方でCD38抗原は造血幹細胞やリンパ球の細胞表面にも発現していることが知られており、治験において限られたデータは存在するものCD38抗体が幹細胞採取および移植に与え得る影響については実臨床において十分に検討がなされているとは言えません。 本研究では実臨床において抗CD38抗体を投与された後に幹細胞採取および移植を行われた患者さんの情報を後方視的に解析することにより同抗体が幹細胞採取・移植に与える影響を検討することを目的としています。
研究方法	対象: 当センターにおいて2020年7月～2023年1月に抗CD38抗体(ダラザレックス、ダラキューロまたはサークリサ)の投与を行われた後に自家末梢血幹細胞採取・移植を行われた多発性骨髄腫の患者さん88例を対象としています。 研究の方法: 診療録をもとに、患者さんの背景、幹細胞採取効率、治療成績等を解析します。 倫理的配慮: 個人情報の保護には十分な配慮を行った上で解析を行います。上記対象に該当すると思われる患者さんで、本研究への登録を希望されない方は下記までご連絡下さい。参加を希望されない場合でも不利益を被ることはありません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 血液内科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者: 塚田 信弘 TEL: 03-3400-1311 FAX: 03-3409-1604